

# 日本語教育プログラム70周年記念行事報告

小澤 伊久美

## 1. はじめに

国際基督教大学（以下、ICU）は、1953年に日本の大学として初めて単位を認定する日本語教育科目を開講し、日本語教育プログラム（以下、JLP）は2023年に70周年を迎えた。本稿では、JLPが70周年記念として開催したホームカミングについて報告する。

## 2. ホームカミング概要

2024年3月30日（土）に、JLPに在籍中の学生、卒業生、現職及び過去に所属していた教職員を招待し、ディップフェンドルファー記念館講堂（オーデトリウム）にてイベントが開催された。プログラムには、卒業後にプロの歌手やダンサーとして活躍している卒業生によるパフォーマンスやトーク、また「ICUにおける多様性・公平性・包摂性」をテーマにした卒業生による座談会などを企画した（表1）。なお、本イベントは日本国際基督教大学財団の助成を受けて開催された。この場を借りて、深く感謝申し上げる。

表1 JLP70周年記念ホームカミング プログラム

司会 岡田 翔 さん
第1部 プロとして活躍しているJLP修了生によるパフォーマンス 8Law Patrick Akira
第2部 JLP修了生による座談会「ICUにおける多様性・公平性・包摂性」 ボイン 茶夢 氏 プーガ・パブロ 氏 イー・サムソン 氏 吉川 めい 氏
挨拶 学長 岩切 正一郎 国際渉外副学長 ウィリアム・マーク 日本語教育プログラム主任 小澤 伊久美
終了後 オーデトリウム・フォイヤーにて歓談

表2 出演者プロフィール（詳細はJLPウェブサイト参照）

〈第1部〉 8Law	2020年10月国際基督教大学に通っていた学生5人で結成された多国籍アカペラグループ。CX「青春アカペラ甲子園 全国ハモネプリーグ」4回連続決勝出場。
Patrick Akira	1997年生まれ。カリフォルニア州サンディエゴ郡出身。大学卒業後、2019年来日、ICUには1年間の交換留学生（OYR）として在籍。その後、YDK Apartmentに所属し、ダンスのキャリア確立に専念した。それ以来、藤井風、Nissy（西島隆弘）、Vaundy、「LA LA LAND」等、ライブツアー、コンサート、MVにバックダンサーやキャストとして出演。
〈第2部〉 ボイン 茶夢 氏	メキシコとアメリカ出身、ワシントンDCにあるジョージタウン大学で東アジア比較研究と人権を学び、2016年～2017年にOYRとしてICUに在籍。現在は、Into Japan Specialist Toursというラグジュアリー観光会社に勤務。
プーガ・パブロ 氏	メキシコ・CEL高等学校出身、2001年～2006年に4年本科生としてICU教養学部、2006年～2008年に同大学院博士前期課程に在籍。現在は日本の文房具メーカーに勤務する傍らロータリークラブ等でボランティア活動や地域活性化プロジェクトに従事。
イー・サムソン 氏	香港生まれ、中学校及び高校の教育はイギリスで受け、1998年～2003年に4年本科生としてICU教養学部、2003年～2008年に同大学院博士前期課程に在籍。メディアと広告業界などで勤務し、現在はベイディでシニアプロダクトマネージャーを務める。
吉川 めい 氏	東京のインターナショナルスクールに高校2年生まで在学後、通信制高等部を卒業。1998年～2002年に4年本科生としてICU教養学部、2002年～2008年に同大学院博士前期課程に在籍。日本人女性初のアシュタンガヨガ総本山スクールの指導資格を取得、ホリスティック・ウェルネスを提供するスタジオを開き、ヨガインストラクターとして国内外で活動。adidasグローバルヨガアンバサダーも務める。
司会 岡田 翔 さん	ハワイ出身。日本人の父とアメリカ人の母を持つ。2023年秋学期にICUに入学した1年生。

### 3. イベントの内容

ホームカミングでは「多様性・公平性・包摂性」をテーマとして、4年本科生、OYR、家庭で日本語を使用している学生、外国語として日本語を学んでいる学生など、多様なバックグラウンドを持つ学生に登壇を依頼した。彼らがICUでどのように相互に関係を築き、自分らしく表現することを模索してきたのか、また社会に出てからの経験に基づく気づきなどを、歌やダンス、座談会を通じて発信してもらった。

パフォーマンスでは、出演者の豊かな表現とトークが感動的な場をつくり、座談会では登壇者一人一人の経験がICUでどのように人々と関わり、思索を深めてきたかを聞

くことができた。卒業後の経験や人生をいかに歩んでいるのかを知ることができ、参加者からは「多くの人に届けたかった」「JLP生に限らずICUの学生全員に勧めたかった」という声が多数寄せられた。

このイベントは、現在のJLP教職員にとってもICUで教育に従事する意味を再考させられる貴重な機会となった。

#### 4. 今後の課題

ホームカミングの周知にあたって、JLPは卒業生・修了生の連絡先を保持していなかったため、教職員が個別に知り合いに連絡を入れて拡散をお願いする形となった。また、JLPでは世代を超えた学生間の交流を目的としてInstagramを活用しているが、開設から間もないためフォロワー数が少なく、リーチの確保が課題であった。

さらに、JLP生は世界各地に住んでいるため、ホームカミングのために日本に帰ることが難しいという問題もあった。加えて、学期中にこうしたイベントを企画・運営することはJLP教職員にとって負担であったため春休み開催としたが、現役学生にとっては帰省や観光に出る時期と重なった。これによりハイブリッド開催の希望もあったが、運営面での負担が大きく、動画を事後に公開するに留める形となった。

しかし、イベントの写真や動画をJLP公式ウェブサイト、Instagram、Facebookで公開した結果、SNSフォロワーが増加し、在校生と卒業生との新たな交流の機会が生まれた。特に、過去の教職員からは「若者たちの話に励まされた」「周りの者にも視聴を勧めている」といった感想が寄せられた。

今後もコンテンツを発信し、コミュニティ形成の努力を続けていきたい。

#### 参考資料

- (1) JLP ウェブサイト  
<https://sites.google.com/info.icu.ac.jp/jlp/>
- (2) JLP Instagram  
[https://www.instagram.com/icu\\_jlp/](https://www.instagram.com/icu_jlp/)
- (3) JLP Facebook  
<https://www.facebook.com/ICU.JLPs>

(小澤伊久美—国際基督教大学)

## JLP 70th Anniversary Homecoming

2024年3月30日(土) 13:30~16:00

場所: ICUD館オーデトリウム

### ICU卒業生によるパフォーマンス&座談会

- アカペラユニットの8Law、ダンサーのパトリック・アキラ、それぞれの分野で目覚ましい活躍を見せる才能豊かな卒業生のパフォーマンスをお楽しみください。



**8 Law**

<https://linktr.ee/8Law>



**Patrick Akira**

<https://lr.link/en/Potgilles>

- 「ICUにおける多様性・公平性・包括性」をテーマに、4人の卒業生が掘り下げて話し合います。



BOYNE, Samu



PUGA, Pablo



YEE, Samson



YOSHIKAWA, Mae

#### Master of Ceremonies



OKADA, Dylan Sho

イベント終了後は、お茶やコーヒー、お菓子を楽しみながら、リラックスして交流してください。参加無料です。イベントに参加希望の方は可能なこのフォームから申し込んでください。



Find us on Facebook, Instagram or on the ICU website.

Inquiry : JLP office (jlp@icu.ac.jp)



JLP70周年記念集合写真 (2023年10月20日撮影)